

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	省エネルギー計画支援ツール開発小委員会	主 査 名：岡 建雄 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主 査 名：秋元孝之
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 2017 年度：</p> <p>(1)省エネルギー基準に配慮したツールの計算手法をまとめる。  (2)既存建築の省エネルギー改修に対応できるツールの計算方法をまとめる。  (3)太陽エネルギー利用、太陽光発電の設備費、性能に関する資料をまとめる。  (4)パキスタンの気象データを収集する。</p> <p>・ 2018 年度：</p> <p>(1)省エネルギー評価ツールを Excel で開発する。  (2)パキスタン国に適用できる省エネルギー評価ツールを開発し、途上国支援、国際協力の一助とする。  (3)設備費と運用エネルギーのデータを収集できる建物を対象に、ツールの妥当性を確認する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	岡建雄 (宇都宮大学) 森川元樹 (森川設計) 海藤俊介 (NTT ファシリティアーズ総合研究所) 赤嶺嘉彦 (国土交通省国土技術政策総合研究所) 中島康孝 (建築技術情報センター) 横尾昇剛 (宇都宮大学) 木村博則 (石本建築事務所) 近藤武士 (日建設計総合研究所) 川津行弘 (日本設計) 武田晃成 (東京ガス) 金田久隆 (大林組) 高久香織 (巴コーポレーション、業務上一時中断) 狩野直樹 (きんでん) 福田全志 (カンキョウエンジニアリング) 相曽一浩 (OM ソーラー)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名：省エネルギー設備設計資料作成 WG 目的：(1) 設備、建築設計に適用されている省エネルギー手法をまとめる (2) 省エネルギーに関する研究成果をまとめる。 (3) これらの成果を配布資料として出版することを最終の目的とする	
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「中小事務所ビルを対象とした省エネルギー手法の経済評価と省エネルギー基準の適用」 参加者数 48 名 『同名資料』
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	100% 達成 (2017 年度活動計画 (1) ~ (4))
委員会活動の問題点・課題	1. 建設コストの充実を図りたい 2. WG 活動との連携が取れない